



□ 仙波河岸と愛宕の杜

舟運の基地5河岸から町中の問屋街までは遠く、途中急な烏頭坂も難所であるため、扇河岸から仙波村までの水路を開削し、滝の下の池を広げた仙波河岸が新設されたのは明治12年のこと。父塚と呼ばれる塚上に平安期に山城国愛宕山より分霊されたと伝えられる愛宕神社があり、東麓より滝が流れ落ちている。神社境内には樹齢400余年の杉の神木や松平伊豆守寄進による3本の老松がある。